



PFFアワード2017  
審査員特別賞

第20回京都国際  
学生映画祭  
観客賞/実写部門  
グランプリ

知らないオトナに育てられ、  
結果、ボクはスクスク育った。



# 沈没家族

ちんぼつ

かぞく

人間解放

劇場版

家族って、  
なんなんだ!!



シングルマザーの母がはじめた共同保育の試み「沈没家族」。  
あたらしい「家族のカタチ」を問いかけるドキュメンタリー。



監督・撮影・編集: 加納 土 音楽: MONO NO AWARE、玉置周啓

加納穂子、山村克嘉、イノウエ、高橋ライチ、めぐ、佐藤公彦、藤枝奈己絵、たまご、べべ長谷川、沈没家族のみなさん、うれP家のみなさん  
協力: 鯉沼愛実、野崎実、武蔵大学、SPACE SHOWER MUSIC 卒制版制作指導: 永田 浩三 劇場版構成: 大澤一生  
宣伝美術: 成瀬慧+中野香 宣伝: contrail 配給: ノンデライコ 製作: おじゃりやれフィルム 2018/日本/93分/HD/カラー

chinbotsu.com

# 90年代半ば。様々な若者がひとつの“家”に寄り合い 子育てに奮闘した実践的共同保育「沈没家族」 母はどうしてたったひとりでこの“家族”を始めたんだろう？ 20年の時を経て、おぼろげだった僕の“家族のカタチ”が見え始めた——



時はバブル経済崩壊後の1995年。地下鉄サリン事件や阪神淡路大震災が起き、世相がドンドンと暗くなる中、東京は東中野の街の片隅で、とある試みが始まりました。シングルマザーの加納穂子が始めた共同保育「沈没家族」です。ここに集まった保育人たちが一緒に子どもたちの面倒を見ながら共同生活をしていました。そこで育ったボク（監督：加納土）が「うちってちょっとヘンじゃないかな？」とようやく気づいたのは9歳の頃。やがて大学生になってあらためて思ったのです。ボクが育った「沈没家族」とは何だったのか、“家族”とは何なのかと。当時の保育人たちと一緒に生活した人たちを辿りつつ、母の想い、そして不在だった父の姿を追いかけて、“家族のカタチ”を見つめなおしてゆきます。



## 映画祭で新鮮な感動を呼んだ 卒業制作ドキュメンタリーが熱い期待に応えて、 ついに【劇場版】として公開！

加納土監督が武蔵大学在学中の卒業制作作品として発表したドキュメンタリー映画『沈没家族』は、“家族のカタチ”を捉えなおす軽やかな語り口で観客に新鮮な感動を呼び、PFFアワード2017で審査員特別賞、京都国際学生映画祭2017では観客賞と実写部門グランプリを受賞しました。学生作品ながら、その後も新聞やテレビ等各メディアで取り上げられ続け、ついに劇場公開となります。一般公開にあたり、卒業制作版から再編集を経てバージョンアップ！さらに音楽を、その卓越した言語感覚とリズムで注目度MAXのバンド“MONO NO AWARE”が担当し、新たに書下ろした曲「A・I・O・O・U」を提供！格段にスケールアップした『沈没家族【劇場版】』是非ご覧下さい。



と沈没家族とは？

シングルマザーであった加納穂子（当時23歳）が「いろいろな人と子どもを育てられたら、子どもも大人も楽しいんじゃないか」との考えで、子守りの呼びかけに集まった若者と子どもたちによって、1995年から始められた共同保育・共同生活の実験的な生活形態。ストリート・カルチャーのオルタナティブな実践的ライフスタイルとして当時注目を浴び、メディアでもたびたび取り上げられた。



# 沈没家族 劇場版

監督・撮影・編集：加納土 音楽：MONO NO AWARE、玉置周啓  
加納穂子、山村克嘉、イノウエ、高橋ライチ、めぐ、佐藤公彦、藤枝奈己絵  
たまご、べべ長谷川、沈没家族のみなさん、うれP家のみなさん  
協力：鯉沼愛実、野崎実、武蔵大学、SPACE SHOWER MUSIC  
卒制版制作指導：永田 浩三／劇場版構成：大澤一生 宣伝美術：成瀬慧＋中野香  
宣伝：contrail 配給：ノンデライコ 製作：おじゃりやれフィルム 2018/日本/93分/HD/カラー

[f](https://www.facebook.com/chinbotsukazoku) [i](https://www.instagram.com/chinbotsukazoku) @chinbotsukazoku chinbotsu.com

4月より“里帰り”ロードショー！  
ポレポレ東中野にて

前売鑑賞券：¥1,300(税込) 当日：一般 ¥1,700(税込) / 大学・専門学校生 ¥1,200(税込)  
★初日舞台挨拶、期間中ゲストトークも開催予定。詳細は劇場または公式HPでお知らせ致します。

JR総武線・都営地下鉄大江戸線東中野駅より徒歩1分

ポレポレ東中野

03(3371)0088

www.mmjp.or.jp/pole2/

